

# 事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(769)8273
担当部課名	土木部	河川整備	課	管理
事務事業名	しおだ土地区画整理事業河川用地負担金(債務負担金行為)		事業コード	32510

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤の整備を進めます	事業開始年度
基本施策名	第5節	河川の整備	13年度
施策名	第1施策	治水対策の推進	

2 実施根拠及び関連法令等

河川法第100条、土地区画整理法第120条
-----------------------

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
準用河川八瀬川改修事業地内で実施されているしおだ土地区画整理事業に対し、公共施設管理者負担金として債務負担行為により2年間で負担金を支払い、河川用地を取得する。		河川沿線住民及び河川利用者	
		対象数	約1000人
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
1 全体事業費 758,000 千円 ・平成13年度 280,800 千円 ・平成14年度 477,200 千円 2 取得面積 9,757.59 m <sup>2</sup>		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名なし	
		計画年次 13年度～14年度	
		準用河川八瀬川改修事業地内で実施されているしおだ土地区画整理事業に対し、公共施設管理者負担金として債務負担行為により2年間で負担金を支払う。	

4 評価指標

指標名	用地の取得率		
指標式	(当該年度取得面積 / 当該年度取得予定面積) × 100		
指標設定の意図	用地の取得率により、地域市民の憩いの場として提供できる面積及び適正に維持管理できる河川区域面積を表す。		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度
	実績	実績	実績	目標	目標
指標			a 100.0	b 100.0	100.0
指標			c	d	
指標			e	f	
事業費	決算(予算)額		280,800	280,800	477,200
	人員・時間数		30時間	30時間	30時間
	人件費		125	125	125
	その他経費				
	合計	0	280,925	280,925	477,325
特定財源					

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 A ▼	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 100.0%	
	B:一部達成していない(100%> 80%)		
	C:達成していない (80%> )		
$\frac{a}{b} \times 100 = \frac{100.0}{100.0} \times 100 = 100.0\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$	
理由:	当該事務は平成13年度及び平成14年度の2ヶ年継続事業で、平成13年度は予定通り執行した。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 A ▼	A:適応している	理由:	河川法の改正により河川改修については、従来の治水目的から環境面にも配慮した整備手法が求められ、当該区域の河川改修についても多自然型で整備されたので評価できる。
	B:一部適応していない		
	C:適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A:妥当である	理由:	用地の取得価格が77,683円/m <sup>2</sup> で、平成13年度に取得した同一河川の他の用地取得価格85,000円/m <sup>2</sup> を下回っており、適正と判断できる。
	B:一部妥当でない		
	C:妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A:代替の可能性ない	理由:	準用河川の整備・管理については、地方分権により自治事務と位置付けられており、実施主体の変更はありえない。
	B:代替の可能性低い		
	C:代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A:満足できる	理由:	取得する河川用地は、親水機能を有する多自然型河川として整備されており、地域市民の憩いの場となっている。
	B:一部満足できない		
	C:満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A:有効である	理由:	河川整備の基本である治水対策の推進に寄与するのみでなく、環境面からも自然環境の保全と創造に寄与している。
	B:一部有効である		
	C:有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		<p>説明:</p> 河川整備計画のうち、区画整理事業区域内の施工のため、事業区域外の整備を積極的に行うことにより、安全性等が更に向上する。
	<p>コスト改善余地</p> <input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない		<p>説明:</p> 区画整理事業の一部であり、事業計画及び資金計画が定められていることから、コスト改善は困難

7 総合評価

評価	AAA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	2ヶ年に渡る債務負担行為で、平成14年6月の換地処分により、市名義の河川用地として取得して本業務は終了する。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--